



「しなやかに駆けめぐる ～歌うヴァイオリン～」

プログラム

エルガー 愛の挨拶
 ディニーク ひばり
 ピアノコーナー
 ムソルグスキー 「展覧会の絵」より
 キエフの大門
 モンティ チャルダッシュ



知れてよかったと思いました。

- ・とても2人ともコンビネーションがよくてとってもかんどうしました。おわるときはもっと聞きたかったとショックでした。とても音色がよかったです。また音を聞かせてください。
- ・バイオリンとピアノがあわさっているとくりよくのある曲だったり、なめらかな曲とかいろんな曲とかがきれいにきこ

えるので、これからもがんばってほしいなあとと思いました。

- ・バイオリンの中がくどうなんてはじめてききました。わたしは小さいころにバイオリンの中にはなにがはいているのかなと思ったので、このきかいでバイオリンについてしれてよかったです。ピアノの中はどんなしくみになっているかきになっていたの、このきかいでしれてよかったです。
- ・私は、音楽にあまりきょうみがありませんでした。でも、お二人のえんそうを見て音楽の楽しさやうれしさ、悲しさなどを音でひょうげんできる。音はすばらしいものだということを思い知りました。くふうをしてやっていることが伝わりました。小さいころから今までずっとれん習をしていたのがわかりました。音楽の道をあきらめずにすすんだその気持ちはすてきだと思います。
- ・ヴァイオリンはゆびをおいていくと音がかわって、とりの声や音をのばしたり、音をぎったりいろんな音がひけるのははじめてしりました。

学校アウトリーチとは

武豊町と協働でゆめたろうプラザを運営しているNPOたけとよは、2005年度から舞台芸術のアウトリーチ活動(以下アウトリーチ)を武豊町教育委員会と共に行っていました。

この取り組みは、芸術を表現する側と観る側の垣根を超えて、アーティストと参加者の間で互いに積極的な交流ができるプログラムを目指すもので、小さい会場(音楽室など)・少人数(クラス単位)で、プロの演奏や表現を鑑賞したり、一緒に参加してもらったりします。私たちは武豊町のすべての子どもたちに、目の前で優れたプロアーティストの芸術を体験する機会を作りたく、2010年度からは毎年町内の全小学校の4年生を対象にアウトリーチを行っています。学校の先生方の協力をもとに、今年度もすべての4年生(全11クラス)にアウトリーチを体験してもらうことができました。

